

課題1：カフェサイト制作

WEB

クライアントから制作依頼されたと想定して、架空のカフェのWEBサイトを制作しました。

課題の概要

1. カフェについて

- ・店舗は、天白区植田に2024年4月1日にオープンする「ワズカフェ (Was Cafe)」
- ・駅からも繁華街からも離れた住宅地
- ・既存客のいない新規店
- ・想定される競合店は、都心にも郊外にも展開するカフェチェーン、喫茶店、ファミレスなど

2. Webサイトを作る目的・クライアントの要望

- ・一番の目的は、**店の知名度を上げて集客につなげる**こと
- ・地域の人たちが**気軽に利用できるお店**であることをアピールしたい

3. サイト仕様

PC版サイズ 幅 1280px 程度のブラウザで違和感なく閲覧できるサイズにする

- ページ構成
- ・トップページを含む全4ページを目安にサイト構成を考え、各ページのワイヤーフレームとサイトマップを作成する
 - ・グローバルナビの項目を考えて、全ページに配置する
 - ・原稿の内容はすべて掲載する

- その他
- ・コンセプトに合ったテーマカラーを決めて、ロゴマークを作成する
 - ・レスポンス対応させることが望ましい

課題1：カフェサイト制作

WEB

制作指針

- ・コンセプトは「都会の喧騒から離れて、ゆっくり過ごす」「リラックス」
 - 気軽に利用できるという印象を待たせるために、「過ごしやすい（お店に入りやすいカフェ）」というイメージを打ち出すことが目的。
 - コンセプトに添った配色
ベースカラーはコーヒー豆から連想し、ナチュラルな明度の高い茶色。それに加えて、落ち着いたイメージを持たせるために青を使用することにした。
- ・店の知名度を上げる必要があるため、店名を覚えやすいデザインを作る
 - ロゴは、シンプルで覚えやすいものを目指す
 - トップページは1番はじめに目に入るため、店名が目立つようにデザインをする

完成サイト

1. トップページ

カフェのキャッチコピー

「WasCafe」のフォントサイズを大きくして、ファーストビューの中でも目立つように配置した。

ファーストビュー

このカフェの売りであるコーヒーの写真を配置。「カフェ」のイメージを強めている。



課題1：カフェサイト制作

WEB

2. Was Cafe 紹介ページ

- ・カフェのコンセプト、オーナーのプロフィール、店舗概要を記載。
- ・各セクションの境界が分かりやすいよう、それぞれ背景の色と文字揃えを変えている。
- ・背景の色は、コーヒーをイメージしており、下に行くにつれて色が濃くなっている。境界の波線はコーヒーの水面が波打つ様子を表している。

カフェのコンセプト

写真とテキストを左右交互に配置し、視線を左右に振って、動きを持たせている。

オーナーのプロフィール

名前と紹介文でフォントの色を分け、名前を目立たせている。

店舗概要

集客のため、まずは店に来てもらうことが重要なので、一番上に地図を配置。地図の下に色が濃い影を置くことで、地図が浮かび上がらせている。

WasCafeとは

コンセプト

訪れるみなさまの憩いの場所でありたい。
ワズカフェは、誰もがハッピーな気持ちになれる、素敵な空間を演出します。

おひとり、お友達同士で、ファミリーで。
誰もが気軽に行きたくなるカフェを目指し、おもてなしの気持ちを含めてみなさまをお迎えいたします。
シアワセなひとときをワズカフェでお過ごしください。

香りも味も妥協しない、看板メニューのオリジナルブレンドコーヒー

世界各地のカフェやコーヒーの産地を巡りまいしたオーナーが自信を持って選び抜いたコロンビア産・エチオピア産の豆をブレンドしています。
オータゴとドリップしますので、淹れたての香りと、酸味・苦味・コクが調和した奥深い味をお楽しみください。



こだわりのルヴァン種を使った自家製パンも当店の自信です

当店のパンはすべて自家製酵母のルヴァン種を用いたフランスの伝統的な製法で作られます。
小麦の旨味と酸味がしっかりとおり、噛みしめるほどに風味が増していくのが特長です。
定番のクラシック食パンやバゲットのほかにも、ランチタイムにはボリュームたっぷりのお惣菜をサンドした限定パンが店頭並びます。

すべてのお客様にやさしい場所をつくります

暖の光が落ちる明るい店内はすべてバリアフリー、小さなお子様から年配の方まで安全にお越しいただけます。
また、新型コロナウイルス感染防止の対策も徹底し、みなさまが安心して過ごしていただける空間づくりを心がけています。



プロフィール

山田 太郎 Taro Yamada

メインシェフ兼オーナー。

名古屋の調理師学校を卒業後、大手飲食店を経営する会社で長年勤務。
調理から店舗経営（本社マネージャー兼 子会社執行役員）まで経験。
会社勤務時代から国内の多くのカフェを巡るほか、
趣味の旅行も兼ねて欧米を中心に世界各地の飲食店を視察した。
モットーは良質な身体に優しい料理をお客様に提供すること。

2024年2月、これまでの経験と視察研究の成果を実践するため
名古屋市天白区植田に「ワズカフェ」をオープン。
地域に根ざし、老若男女関係なく誰もが気軽に訪れることのできるカフェを模索中。

店舗概要



所在地
〒012-3456
愛知県名古屋市長白区植田本町00-00

電話番号
000-0000-0000
予約専用：0120-000-000

営業時間
平日7:00～21:00
土日祝7:00～22:00

課題1：カフェサイト制作

WEB

3. メニューページ

・コーヒーと紅茶にはそれぞれの豆や茶葉の紹介文を載せるため、文字数が多くなるので、メニュー画像をクリックすることでメニューごとの詳細な情報を記載した下層ページに移動するようになっている。

・クリックの範囲は、画像だけでなく商品名の文字まで含まれており、スマートフォンからアクセスした場合でも、タップしやすく配慮している。

メニュー一覧ページ

画像を
クリック

メニュー

コーヒー

ワズカフェのコーヒーはコロンビア産・エチオピア産の豆をベースにしたオリジナルブレンドをオーダーごとにドリップします。

淹れたての香りと、酸味・苦味・コクが調和した奥深い味をお楽しみください。



オリジナルブレンドコーヒー	アメリカンコーヒー	備長炭でローストした炭焼き コーヒー	カフェ・ラッテ
440円 (税込)	440円 (税込)	550円 (税込)	528円 (税込)

限定商品



フルーツレバー コーヒー	限定スペシャルティコーヒー
550円 (税込)	550~770円 (税込)

個別ページ



オリジナルブレンドコーヒー

ホット/アイス

440円 (税込)

コロンビア産・エチオピア産・インドネシア産のオリジナルブレンド。程よい苦味とコク、のちに爽やかな甘味が広がります。

[メニュー一覧へ戻る](#) ↩

[ページの先頭へ](#) ↑

課題1：カフェサイト制作

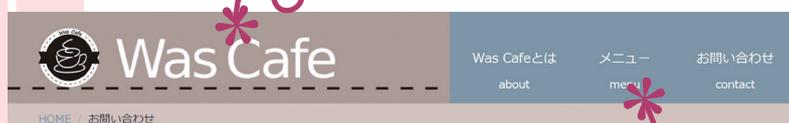
WEB

4. お問い合わせページ / ヘッダー・フッター

- ・このページの最終的な目的である送信ボタンが一番目立つように、ボタン以外の項目はシンプルなデザインになっている。

ロゴ

店名である「WasCafe」をページ内で最も大きいフォントサイズで表示。
下の破線は、ロゴを強調している。



ナビゲーション

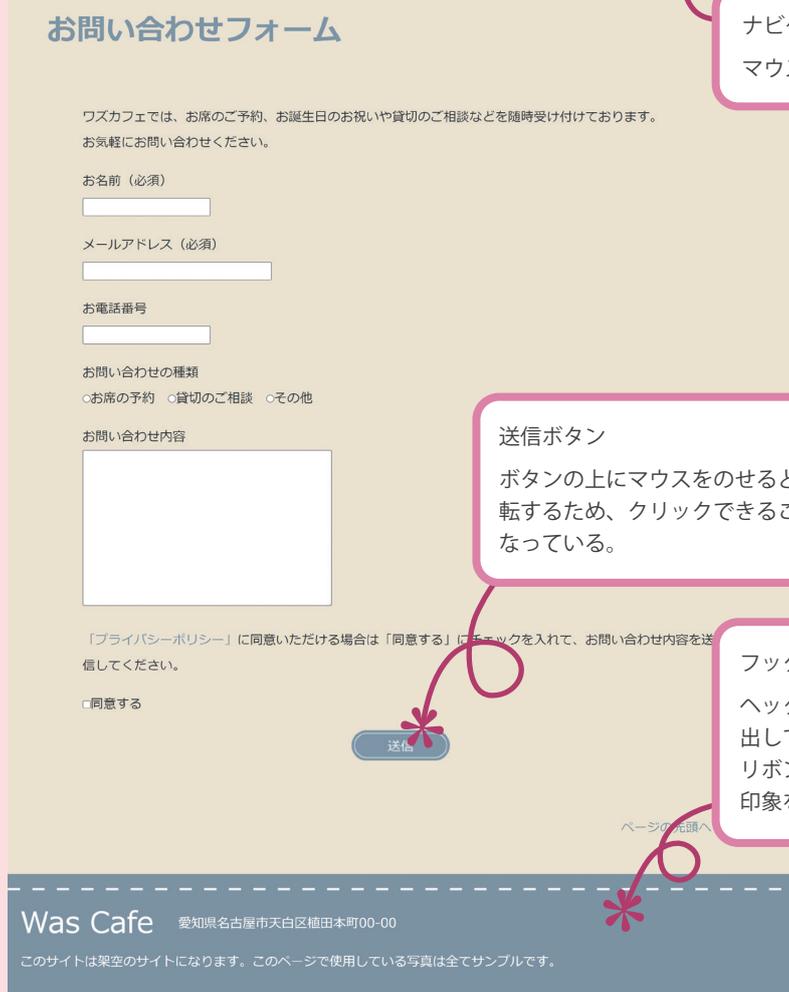
マウスを上に乗せると色が反転する。

送信ボタン

ボタンの上にマウスをのせると、ボタンの色が反転するため、クリックできることが分かりやすくなっている。

フッター

ヘッダー・ロゴに合わせて破線を入れ、統一感を出している。
リボンの縫い目モチーフで、布のような柔らかい印象を持たせ、親しみやすくしている。



課題 1 : カフェサイト制作

WEB

5. ロゴデザイン

クライアントの目的は、**店の知名度を上げて集客につなげる**こと、地域の人たちが**気軽に利用できるお店**であるとアピールすることなので、この二つの要素からロゴのデザインを作った。

(1) 知名度を上げる

・店の名前を覚えてもらうため、ロゴの中にも店名をいれることを考え、店名の「Was」の文字を変形して、コーヒーカップのイラストを作ることにした。

(2) 気軽に利用できることをアピール

- ・気軽に利用できる店＝親しみやすさが重要だと考え、柔らかい印象を持つリボンモチーフとして使用。破線はリボンの縫い目をイメージしている。
- ・イラストを円で囲み、カフェが地域住民同士の輪、繋がりを作る場所になる、という意味を込めている。

★ ロゴ制作過程

初期案



- ・色は白黒で、イラストがあまり目立たない。
- ・WasCafeの文字と円の間に余白がないため文字が読みづらい。
- ・形が丸というありふれた形であり、オリジナリティがない。印象にあまり残らない。

完成ロゴ



- ・コーヒーの色に合わせて色を黒から茶色に変更。
- ・WEBサイトの淡い色の中でロゴが目立つように、初期案から色の配色を反転させた。WasCafeの文字が見やすくなった。
- ・リボンのモチーフを追加。独自性を出しつつ、破線に意味を持たせた。

制作時間 120 時間

使用ソフト Illustrator (CS5/CC), Photoshop (CS5/CC)
Visual Studio Code